

第3回定例会

平成19年第3回議会定例会は、6月5日から7日までの3日間の日程で開催されました。

一般会計繰越明許費繰越計算書の報告など4件の報告があったほか、税条例の改正など専決処分の承認2件、条例1件、補正予算2件、人事1件、その他3件の議案並びに陳情等4件及び意見書2件について審議され、原案のとおり可決されました。

なお、一般質問には10名の議員が登壇しました。

◆4会計の繰越明許費繰越計算書の報告

3月定例会において、繰越明許費として議決した一般会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計及びケーブルテレビ事業特別会計の繰越明許費繰越計算書を議会に報告したものです。

一般会計は、農林水産業費、土木費、教育費及び災害復旧費で、2億986万6千円、介護保険特別会計は、介護保険システム改修事業で、189万円、下水道事業特別会計は、下水道整備事業で、1,840万円、ケーブルテレビ事業特別会計は、ケーブルテレビ高度化事業で、1億1,820万円が翌年度へ繰り越されました。

◆専決事項2件を承認

地方税法等の一部を改正する法律が、4月1日に施行されたことから、専決処分を行った次の条例改正の承認を求めたものです。

●町税条例の一部を改正する条例

信託法の一部改正に伴う町民税の納税義務者の追加、バリアフリー改修工事に係る固定資産税の減額制度、町たばこ税の特例税率の本則化など、

町税条例の一部を改正したものです。

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

医療給付費分賦課限度額の改正で53万円から56万円に引き上げる改正です。

◆人権擁護委員の推薦

岡 豊子氏（再任）

現在、人権擁護委員として活躍されている岡豊子氏の任期が平成19年9月30日で満了となるため、引き続き人権擁護委員候補者として法務省に推薦するための議案が提出されたもので、異議なく賛同しました。

◆町立学校の設置に関する条例の一部改正

武茂小学校、健武小学校、和見小学校を馬頭小学校へ、馬頭東中学校を馬頭中学校へ、それぞれ、平成20年4月に統合するため、条例の一部を改正するものです。

◆南那須地区広域行政事務組合規約の変更

地方自治法の改正に伴い、収入役の制度が廃止され、南那須地区広域行政事務組合に

会計管理者を置くため、規約の一部を改正するものです。

◆損害賠償額の決定及び和解

平成19年2月4日に町道冥賀線で発生した負傷及び車両破損事故について、損害賠償金を支払うことで和解による示談が成立したものです。

◆平成19年度那珂川町一般会計補正予算の議決

総務費は、自動車事故の損害賠償金、衛生費は、母子健康指導車の配分負担金、土木費は、町道大山田立野線の改良、消防費は、消防団員退職報償金、教育費は、豊かな体験活動推進事業費に、それぞれ増額しました。

補正額は2,400万円の増額となり、その財源として、国・県支出金、繰越金、諸収入及び町債を充当し、補正後の歳入歳出予算総額は75億400万円となりました。

◆平成19年度那珂川町老人保健特別会計補正予算の議決

平成18年度の事業確定により、超過交付となっていた支払基金への返納金893万5千円を計上し、その財源に繰越金を充当したものです。

これにより、補正後の歳入歳出予算の総額は18億3,893万5千円となりました。

◆那珂川町学校給食センター第2期改修工事請負契約の締結

学校給食衛生管理の基準に基づき、調理場内に空調設備を設置すること、冷暖房効率向上のため、調理室及び洗浄



室の天井を下げる工事などを行つたもので、指名競争入札の結果、株式会社浜屋組が7,833万円で落札しました。

この契約について議会の議決を求めたものです。

◆陳情等

●障害者自立支援法の運用上の改善を求める緊急要望書

●リハビリテーション打ち切りの実態把握と改善のため、政府への意見書提出を求める陳情書

●療養病床の廃止・削減計画の中止と介護保険の充実等を求める意見書の提出を求める陳情書

平成19年第2回定例会において、教育民生常任委員会に審査を付託した陳情等3件については、3月8日、13日及び5月15日に委員会を開催し、担当職員の出席を求めて、慎重に審査した結果、「障害者自立支援法の運用上の改善を求める緊急要望書」並びに「リハビリテーション打ち切りの実態把握と改善のため、政府への意見書提出を求める陳情書」については、「採択すべきもの」、「療養病床の廃止・削減計画の中止と介護保険の充実等を求める意見書の提出を求める陳情書」につい

ては、「不採択とすべきもの」と決定した旨報告があり、委員長報告のとおり、本会議で決定しました。

これを受けて、「リハビリテーション打ち切りの実態把握と改善を求める意見書」の提出議案が追加上程され、審議の結果、可決されました。即日関係行政庁に意見書を提出しました。

●医師・看護師不足対策に関する陳情書

今期定例会において、教育民生常任委員会に審査を付託された「医師・看護師不足対策に関する陳情書」については、6月5日に委員会を開催し、慎重に審査した結果、「採択すべきもの」と決定した旨報告があり、委員長報告のとおり、本会議で採択しました。

これを受けて、「医師・看護師不足対策に関する意見書」の提出議案が追加上程され、審議の結果、可決されました。即日関係行政庁に意見書を提出しました。



一般質問

質問、答弁とも要約してあります。

町長の政治姿勢について



大森 富夫 議員

質問 ①教育基本法改正や国民投票法制定、社会保険庁改革など、国の進路と国民生活に関わる事案が、次々と制定され、自民・公明の暴走政治が進んでいる。町長の考えを伺う。

②町は、住民アンケートに見られる町民意識を尊重しない極めて恣意的なまちづくりを進めようとしている。那珂川をはじめ豊かな自然を生かすまちづくりをすべきではないか。

③夕張市の財政破綻から、当町は、財政危機打開のため

に、どんな教訓を得ているか。

答弁（町長） ①国政問題については、町長としてのコメントは差し控えたい。

②本町のまちづくりは、昨年11月に策定した那珂川町総合振興計画に基づき進めている。これは、町民の意見を最大限反映し、策定したものである。豊かな自然を生かしたまちづくりは、当町が目指すものであり、恣意的なまちづくりをしているとは考えていない。

③当町は、各財政指標からみて、かなり厳しい状況にある。夕張市のような事態にならないよう那珂川町行政財政改革推進計画を基本として、住民サービスの低下を避けるため、無駄を省き、みずから人件費削減に努め、住民負担となる使用料等の値上げを抑えてき

ている。また、町税の収納については、県と協力し、地方税徴収特別対策室を設置し、収納率の向上に努めている。

住民税増税など町民生活に関わる諸問題について

質問 ①住民税が大増税されている。本人負担は変わらないうと宣伝されているが、実態は違う。軽減策をとるべきではないか。

②生活保護申請の受付窓口対応を改善し、申請書を受付カウンターに置くべきではないか。

③国民健康保険証をすべての加入世帯に配布すべきである。また、世帯全員に保険証カードを配布すべきことを提案したが、その後、どのような取り組みをしたか。

④後期高齢者医療制度は、医療費の抑制策で、高齢者が医者にかかりにくくするものだ。広域連合議会において、保険証の全世帯発行、保険料の減免措置、応能負担の実施などを求めているべきではないか考えを伺う。

答弁（税務課長） ①住民税増税は、所得税から個人住民税への約3兆円の税源移譲の実施によるものである。所得